

# アジェンダ21すいた

第46号

平成30年4月25日発行

「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味です。「アジェンダ21すいた」は、市民・事業者・行政が力を合わせて、持続可能な社会の実現を目指すパートナーシップ組織です。

## ニュースレター

### CONTENTS

- 「すいたクールアース大作戦」出発します！・・・1
- 「食品ロス削減」調査結果の報告・・・・・・・・・・2
- すいた環境教育フェスタに出展しました！・・・3
- くるくるアースフェスタ・・・・・・・・・・4
- 「すごい」が守る多様性 本川達雄氏講演会・・・5
- 都市型バイオマス～下水汚泥は宝の山～・・・6
- リーフレットが完成しました！・・・・・・・・・・7
- 各種募集・イベント案内・・・・・・・・・・8

## 2018年度「すいたクールアース大作戦」出発します！

今年の冬は厳寒で、とても大変でしたね。で、寒冷化しているのではないかと、との声もちらほら。でも世界で気象の異常が報告されています。そこで、フラッグシッププロジェクト（一つの旗印のもとに企業も市民も行政も力を合わせてみんなで取り組もう）「すいたクールアース大作戦」を実施します。

その一環として、昨年、好評を得た中秋の名月の下での音楽の集い、「すいたクールアースデー・ムーンライトコンサート」を今年も9月24日（月・祝）、千里南公園で実施します。温暖化防止に楽しみながら参加するこのイベント、どうぞお楽しみに。

2年前から、市民の皆様が自身でできる温暖化防止実践を宣言し、記念の写真に写る「すいた、わたしのエコ宣言」もすでに定着し、1000人を超える市民の皆様が取り組んで下さいました。今年も継続して参ります。

今年にはさらに新たな取り組みとして、「すいたクールアースウィーク」を9月22日（土）から30日（日）までの9日間、実施します。これは、賛同してくださる公共施設や団体、企業などの組織体の皆様が自主的に温暖化防止実践行動を宣言し、この期間に取り組んでいただく、というものです。加えて、同時期に行われる秋のイベントにおいても、できる取り組みを行っていただくというものです。このクールアースウィークは初の実施になりますので、ささやかではありますが着実な一歩を期したいと思います。

すいたクールアース大作戦、年々、賛同いただく市民の皆様、組織体の皆様が増えて、いつか市民の皆様が当たり前知っている、また誰もが取り組む恒例行事になることを願っています。

「地球規模で考え地域で行動」と言いますが、「地域のみんなが行動することで、地球規模でよい影響がもたらされる」よう、力を合わせて取り組んで参りましょう。

すいたクールアース大作戦（2018年度）	
「すいた、わたしのエコ宣言」	市民各自がエコな行動を自主宣言し、誓いの写真を撮りお渡しします。
「すいたクールアースデー・ムーンライトコンサート」	秋の一夜、月明りのもと音楽を楽しみながら、温暖化防止を深めます。
「すいたクールアースウィーク」	秋の一週間、団体や企業、公共施設で、それぞれが取り組める温暖化防止実践活動を行います。

（代表 三輪 信哉）

# フラッグシッププロジェクト(食品ロス削減) 調査結果の報告

## JR吹田駅周辺の商店街におけるアンケート調査&ヒアリング

日本で、まだ食べられるのに捨てられる食品「食品ロス」は年間621万トン（2014年度）あり、事業所から出る量は339万トン、家庭から出る量は282万トンとなっています。（環境省資料）

吹田市内での発生量を抑える対策を考えるため、2017年11月～12月、JR吹田駅周辺まちづくり協議会の協力を得て、JR吹田駅周辺の商店街の120店舗に対して食品ロスに関するアンケート調査を行いました。回答は37店舗あり、そのうち9店舗にヒアリングを行いました。

### 【結果】

ロス削減が困難な理由として、チェーン店の喫茶・軽食Aの店の場合は、①閉店時まで数種類・決まった数の商品の陳列を本部から求められる。②商品を作ってから一定時間が過ぎると廃棄と決められている。③従業員は持ち帰りを許されない。という事が挙げられました。一方で、削減の工夫をして成果を上げているお店もあります。

中華料理店Bでは以前は宴会料理の食べ残しがかなりありましたが、2時間の食べ放題では90分でラストオーダーに加えてお皿の交換制にし、残った量に応じて持ち帰り料金を徴収する（通常のメニューでは料金取らない）などの対策を取った結果、ロスの発生がゼロに近くなったそうです。

果物店Cでは葬儀用にメロンを常時おいているが、熟すと希望の顧客に電話をし値引きして売るというユニークな取り組みを実践しています。

すし店Dでは、ネタ・シャリがなくなったら時間内に閉店する（年に何度かある）そうです。

Aでは顧客サービスを重んじる余り、食品ロスが大量に発生します。果たして私たちは、そこまでのサービスを望んでいるのでしょうか？Bでは、顧客に対していささか厳しい店側の姿勢ですが、結果的に価格を上げることもなくWIN-WINの関係になっているといえます。Cでは、高級メロンを廃棄する損失を考え、値引きしても販売できるシステムを採用しています。Dでは、根底に「食品ロスの削減はお金の無駄を防げる」という考え方があり、店の姿勢を貫いています。

食品ロス削減への取組みとして多かったものは「食材・商品の仕入れ量の適正化」、「食べ残しの持ち帰り用の意箱等の提供」、「小盛ニューの設定」などでした。食品ロス削減について困っている事は、「顧客の満足を得る事との両立がむずかしい」と、削減について意識の高いお店も両立という事には頭を悩ませていることがわかります。ただ、個人商店にしてもチェーン店にしても、ロスが出た場合、廃棄費用は価格に上乗せされることを私たち消費者も意識しないとイケません。

私たち「食品ロス削減プロジェクト」では、食品ロスが大量に発生することや、少し意識するだけでロスを減らせることを多くの皆さんにわかっていただくために、今後、吹田市内のお店にステッカーやポスターなどを掲示していただく「協力店」を増やしたり、市民向けのイベントを開催していく方針です。読者の皆さんも「食品ロス」に関心を持ってください。



ごはんの小盛メニューもあるよ！

（資源部会 水川晶子）

## 「すいた環境教育フェスタ2018」に出展しました！（エネルギー部会、資源部会）

～2018年2月3日（土）・吹田市資源リサイクルセンター（くるくるプラザ）で開催～

### 「大人も子どもも楽しめるエコ双六」の実施報告（エネルギー部会）

「エコ双六」の開催として、これまでの2回は神戸市の「CO<sub>2</sub>減（シオツゲン）の会」に委託していましたが、今年は問題作成から小道具準備まで、自前で実施することにしました。

クイズには104名（親の付き合い含めると約170名）の参加がありました。このうち50名が全問正解でした。これは一昨年が123名の参加で52名、昨年は125名の参加で58名からすると、問題は少しだけやさしくなったと言えます。

参加者の中には、面白いからと再チャレンジする親子3人組がおられました。

また、全18問にあえて挑戦する女の子もいました。一方で、問題の合間に入れた「机に手をおいて反省」、「2回ってワン！」「ラッキー！ 2つ進む」などのシートに

止まった時、笑いながらアクションを楽しんでいる光景もよく見かけました。最後に賞品として、A4ノート、B5ノート、ボールペン、クリアファイルなど貰って「勉強になった」と言いながらニコニコ顔で帰って行く姿に、開催側もやりがいを感じる一日でした。

（エネルギー部会 中野政男）



エコ双六のブース

### 給茶コーナー（資源部会）

缶・ペットボトルなど限りある資源を大切に、ごみの減量に向けて資源部会では「給茶コーナー」を設け、マイボトルやマイカップなど持参の方にほうじ茶を無料で提供しました。今年で3年目になります。

給茶に訪れた方は、マイボトル38名（昨年48名）、ペットボトル2名（昨年12名）、マイカップ22名（昨年8名）、リユースカップ利用者27名（昨年25名）、合計89名

（昨年85名）で今年はマイカップ利用者により多く来ていただけました。これは発見です。給茶コーナーの場所がわかりにくかったのか、予想したより来訪者が少なく、とても残念でした。低学年の小学生がリユースカップを知っていたのにはビックリ。子ども達に浸透して周囲につながって行けばごみに対する意識も高くなると感じました。また、マイボトル・マイカップを持参すると値引きしてくれるカフェやコンビニをマップで展示し、ご説明をさせていただきました。マイボトルやマイカップはかさ張るので持ち歩くのは困難とのご意見がありましたが、このようなお店があることを知っていただけただけでも効果があったのではないかと自負しています。マイボトルやマイカップをお財布やハンカチ、携帯と同じ感覚で持ち歩く、そのような時代になるようアピールしていけたらと思います。

（資源部会 孫田ケイ子）



給茶コーナーでは無料でお茶を提供



## ぐるぐるアースフェスタ ～ららぽーとEXPOCITY～

2018年2月18日（日）、ららぽーとEXPOCITYで開催された、（公財）千里リサイクルプラザ主催の「ぐるぐるアースフェスタ」に参加しました。

展示ブースでは、自然部会の「なぜ大切 生物多様性」のパネル展示と、アジェンダ21すいたのフラッグプロジェクトの一つである地球温暖化防止プロジェクトが作成したエコ宣言のクイズ版を展示しました。

このクイズ版は、エコ宣言にある省エネルギー行動した場合、どれだけエネルギーが節約でき、どれだけお得になるか、という、「地球にうれしい、お財布にもうれしい」ことをクイズ形式で見える形にしたものです。

残念ながら、エコ宣言してくれるよう呼びかけたり、写真を撮ったりすることが忙しく、思ったほど展示を見ていただく方が少なかったため、次回は展示も観ていただけるような仕掛けを考えたいと思います。

アジェンダ21すいたの活動にいつも協力してくれている市内大学の学生さんたちも、エコ宣言にかかわってくれました。若い人が一緒に活動してくださると、活気が生まれます。参加してくださって、ありがとうございました。エコ宣言者も70名ほど増えました。

さて、同プラザのブースでも、アジェンダ21すいたと同様、見ていただくだけの展示よりも、木のおもちゃで遊んだり、子ども用自転車を漕いでおもちゃの車を走らせたりLED電気を付けたり、また、紙すきや、木切れで小物を作ったり、というように体験型のところはたくさんの方が集まっていました。

（池淵 佐知子）



大阪学院大学ボランティア部・大阪大学環境サークル



すいた、わたしのエコ宣言



吹田市長後藤圭二氏からご挨拶



ららぽーとEXPOCITY「光の広場」

## 「すごい」が守る多様性～本川達雄氏講演会～(吹田市、アジェンダ21すいた主催)

2018年3月17日(土)、関西大学千里山キャンパスで「ウニはすごい、バッタはすごい」という題目で講演会が開催されました。

動物のサイズが変われば時間も変わり、生き方が変われば世界観も変わる。そんな生物の不思議と面白さを教えてくれた『ソウの時間ネズミの時間—サイズの生物学』。この本の最後に書かれた考え“ある動物のデザインを発見することによってはじめて、その動物が人間にとって理解可能になる。「デザイン」をその動物の拠って立つ論理と言い換えてもいいだろう”と著された『ウニはすごいバッタもすごい—デザインの生物学』。この本の著者本川達雄氏による本と同じタイトルの講演会。

講演の始まりは失われていく生物の多様性についての話から。今、生物の多様性が急速に失われていて、1日に1種、多い推測では1日に30種が絶滅しており、このままいくと今世紀の終わりには生物の種の半数が絶滅するのではないかと推測もあるとのこと。

「いま生物多様性を守らなければならないといわれているが、守らなければならないには価値があるから守るという考えからだと思うが、科学は価値を扱わない」と本川氏は言う。「私たちが生物の多様性を考え多様なものと付き合っていくには、生物を知り理解することから始まる。なんでもないような生物でもよく知ればすごいと思い、すごいと思えば尊敬することができる」のだと。

ここから海の問題と密接にかかわるサンゴ、生物で最も種が多く成功している昆虫、そして本川氏が研究をしておられるナマコを取り上げ、生き物の「すごい」話が始まる。これら「すごい」の内容は冒頭に挙げた本川氏の著書に詳しく書かれており、生物のすばらしさと、それを知ることの大きな喜びを味わえる本なのでぜひお読みいただきたい。

そして講演の最後に本川氏が語られた話は、私たちが生物多様性について考えるときの大切なことを教えてもらったように思う。

「生物にとって最大の目的は自分の遺伝子を残すことである。ならば環境に適応するため少し変化をした私のようなものが続くことが最高の価値であり、私のようなものは私だと認めるとき、生物は永遠に生き続けることができる。」

「よい人間として生きていくことは、よい生物として生きていくことと踏まえれば、私たちは多様な生態系の中で生きており、その生態系の中でこそ生きていける。」

生態系そのものが私だと思い、私たちの子どもは私だと認めることで、生物の多様性を考え守っていくことができるのだと。講演を聴き、改めて本川氏の著書を読み返しながら思う。私たちは他の生きものから「すごい」と言ってもらえるのだろうか。

(自然部会 藤田和則)



会場には160名ほどの来場者



ナマコの生態について



著書ご購入の方とサイン会



# 都市型バイオマス～下水汚泥は宝の山～(エネルギー部会)

## 南吹田下水処理場見学会

下水汚泥は、エネルギーの需要地である都市部で発生する都市型バイオマスともいわれ全国で活用の動きが広がっています。我々エネルギー部会でも大きな関心を持ち、神戸市東灘処理場の消化ガス利用、大阪市平野処理場の固形燃料化事業の見学などを行ってきました。環境先進都市を目指す吹田市としても、下水汚泥を資源としてとらえ、その可能性を探ることが必要と考え、まずは、吹田市の下水処理の現状を把握するため、南吹田下水処理場の見学会を企画しました。

参加者を公募したところ、一般市民の方21名がご参加いただき、部会メンバー6名、事務局1名を加え計28名で実施することができました。

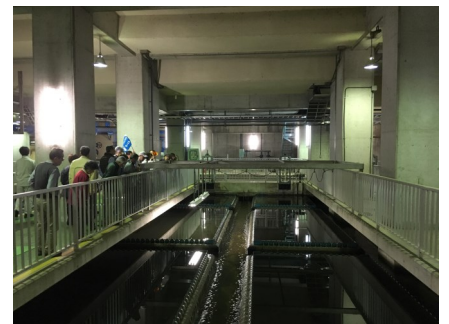
始めに、吹田市下水道部の職員からスライドを使って下水処理の概要について説明を受けました。下水には家庭排水、事業排水、雨水があり、吹田市では主に旧市街で排水と雨水を混合する合流式、ニュータウン等で分流式の下水道となっていること、吹田市の自前の処理施設は現在2か所（南吹田、川面）で、60%以上を茨木市にある安威川流域下水道の中央水みらいセンターで処理してもらっていることなど、基礎的なことを学びました。



下水処理の概要説明



最初沈澱池



微生物の働きにより有機物を除去



汚泥は脱水処理された後、脱水機に



脱水ケーキは含水率67%

説明の後は実際に下水処理施設、汚泥処理施設を見学。空間利用ということで上部には南吹田体育館とグラウンドがあるため、空気が良いとは言えず、臭気にまいてしまう参加者の姿も多く見られました。そのような環境で、勤務されている職員の皆さんには頭が下がります。

下水汚泥については、平成22年9月までは焼却後に埋め立て処分していましたが、それ以降は再資源化をめざし、脱水処理したもの（脱水ケーキ）を業者に引き渡し、肥料化しているそうです。下水汚泥のさらなる活用について、市としても情報を集め、研究を重ねているそうですが、技術の進歩は日進月歩であり、多額の設備投資が必要となるだけに、判断のタイミングが難しいようです。今後、注目して見ていきたいと思います。

（エネルギー部会 馬場慶次郎）



# リーフレットが完成しました！（自然部会）

～生物多様性に関するリーフレットについて～

かねてより自然部会で取り組んでおりました、生物多様性に関するリーフレット改訂版が完成しました。

今回は、特に吹田の問題に焦点をあて作成しています。外来の植物が在来植物に与える影響は大きく、近年、吹田でも身近な問題になってきています。

リーフレットにも明記していますが、特定外来生物に指定されている植物は早めの駆除が大切です。

自然部会では、今後、これらの植物を駆除する活動も計画していますので、参加してあらためて吹田の自然について考えてみましょう。

**こうやって駆除しよう：特定外来植物**

**● 特定外来生物とは**  
特定外来生物とは、外来生物の中で特に生態系への被害が認められるとして外来生物法に基づき環境省が指定し、栽培・保管・運搬・譲渡・野外への放出等が禁止されたものです。

**● 植物の場合**  
植物の場合も、植えたり、人にあげたりしてはいけません。  
吹田市では、オオキンケイギク、ナルトサワギクなどが繁殖して在来種の存続に被害を与えています。  
駆除するための最も有効な方法は、種子ができるまでに根ごと抜き取ることです。  
庭先に生えている場合はご自身で駆除をお願いします。  
施設や公園、道路、河川敷などに生えている場合は、管理者と相談しながら駆除を進めましょう。

**● 植物の駆除の方法**

①花が咲く前に、  
幼苗を見つけて根ごと抜き取り、ポリ袋に入れて、生ごみとして出しましょう。

②花が咲いている場合は、できるだけ早く、根ごと掘り起こし、種が飛び散らないようにポリ袋に入れて、生ごみとして出しましょう。

**● 駆除のポイント**  
種ができ、飛散する前に駆除することが大切です。  
刈り取っても残った根からすぐに再生してしまいます。根から抜き取りましょう。  
残された根や土中の種子から再生するので、なくなるまで数年にわたって抜き取りを行う必要があります。

**外来種被害予防3原則**

- ① 入れない  
悪影響を及ぼすおそれのある外来種を自然分布域から非分布域へ入れない
- ② 捨てない  
飼育・栽培している外来種を適切に管理し捨てない
- ③ 拡げない  
すでに野外にいる外来種を他地域に拡げない（環境省 HP から）

冊子の一部～特定外来生物の駆除方法～

## ～みどりのカーテン講座について～

恒例の「みどりのカーテン講座」を今年も開催します。今回のテーマは、「やってみようみどりのカーテン！究極の地産地消をめざして」です。地球温暖化防止のため、エネルギー消費削減のために・・・と普及してきているみどりのカーテンですが、育てたゴーヤを自家で食べるという地産地消もできるのです。

ゴーヤが収穫できた頃には、クッキングのイベントも予定しています。みなさまの参加お待ちしております。



アジェンダ 21 すいた自然部会  
監修：武田義明（神戸大学名誉教授）

リーフレットの表紙



昨年度のみどりのカーテン講座

参加者には、苗も配布予定！

（自然部会 馬場多佳子）

# 各種募集・イベント案内

## 外来種問題について考えてみませんか？

生物多様性を守るため、オオキンケイギク等の特定外来種に指定されている植物について、神戸大学名誉教授の武田義明氏による解説とフィールドワークを行います。

- ◆とき／平成30年5月20日（日）午前10時から12時（雨天決行）
- ◆ところ／千里ニュータウンプラザ 大ホール、高野台周辺
- ◆主催／アジェンダ21すいた ◆参加費／無料
- ◆申込み／先着20名（5月7日（月）から電話かファックスで、イベント名・氏名・電話番号を記載のうえ、アジェンダ21すいた事務局まで）



## 「みどりのカーテン講座」参加者募集！

各ご家庭でできるヒートアイランド対策を紹介し、ゴーヤの苗の植え方も実演でレクチャーします。参加者には、苗を配布予定ですので持ち帰り用の袋をご持参ください。みなさんの窓際やベランダにみどりのカーテンをつくって、涼しい夏を迎えませんか。

- ◆とき／平成30年5月26日（土）午前10時から午前11時30分
- ◆ところ／吹田市男女共同参画センター（デュオ） 視聴覚室
- ◆主催／アジェンダ21すいた ◆参加費／無料
- ◆申込み／先着50名（5月7日（月）から電話かファックスで、イベント名・氏名・電話番号を記載のうえ、アジェンダ21すいた事務局まで。

## 風呂敷包み講習会 ～ボランティアフェスタに出展！～

スーパーやコンビニで買い物をしたときに便利でエコな風呂敷包み。素敵な包み方がたくさんあります。実際に風呂敷を使いながら、スタッフが丁寧に教えてくれます！先着100名様に風呂敷を差しあげます。

- ◆とき／平成30年5月27日（日）午前10時から午後3時（小雨決行）
- ◆ところ／吹田市役所 駐車場
- ◆主催／第20回吹田ボランティアフェスティバル実行委員会
- ◆その他／入場無料 ◆申込み／不要
- ◆問合せ／吹田市環境政策室（TEL: 06-6384-1782）へ。

## ホームページで、イベント情報や活動スケジュールなどをお知らせしています。

イベント情報や活動スケジュールなどの情報を掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。  
ホームページ <http://www.ag21suita.org/>

### アジェンダ21すいた入会のご案内

持続可能な社会をめざして、一緒に活動しましょう！

#### 【会費】

- ◆正会員 個人1,000円／年  
団体5,000円／年
- ◆賛助会員 1口1,000円／年
- ◆準会員 無料

#### 【会員特典】

ニュースレター・各種案内資料の送付  
部会活動への参加、主催行事への参加など

### アジェンダ21すいたニュースレター

第46号（平成30年4月25日発行）

発行：アジェンダ21すいた 事務局

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

吹田市環境部環境政策室内

TEL：06-6384-1782 FAX：06-6368-9900

E-mail：env-seisaku@city.suita.osaka.jp

企画・編集：アジェンダ21すいた 『エコセン』